

平成30年度短期海外研修 先進国における危機管理体制とテロ対策の調査

1. 研修者

防災危機管理部危機管理課

副参事兼危機管理室長 座間 勝美 副主幹 釣 由紀夫
主事 榊 寛仁 主事 吉住 果菜江

2. 日程

平成30年11月4日～11月11日

3. 訪問先

イギリス ・ロンドン ・マンチェスター
フランス ・パリ

4. 目的

大規模イベント等における事前の体制整備の在り方やテロ発生時の対処方法について調査し、東京2020オリンピック・パラリンピック等の大規模イベントのテロ対策に活用する。

5. 調査結果

【イギリスのテロ対策】

CCTV(監視カメラ)の導入(イギリス国内で600万台)

官民一体の警備体制の構築(警備・鉄道会社等)

住民向けのテロ対策啓発(TV・ラジオ等による啓発)



【イギリスの監視カメラ】

【フランスのテロ対策】

学校教育や対テロ啓発プログラムでの**市民向け啓発**

イベント主催者との**連携したテロ対策**

バリケードや壁などの**物理的警備**



【エッフェル塔付周辺の防護壁】

6. 考察

警察・消防・自衛隊・民間事業者等との更なる連携が必要

国民保護訓練の実施により、事案への対処要領の認識の確認や各機関の対処能力の確認、専門用語整理を行い、更なる連携の強化・テロ対応能力の向上を図る必要がある。

県民がテロに遭遇した際の対処方法等についての啓発が必要

フォーラムの開催等により、テロを未然に防ぐために必要な行動や、テロに遭遇した際の対処方法についての啓発を実施する必要がある。